

所属名	事務事業名	ページ番号
施設機能向上推進室	清掃工場施設大規模改修事業	2
施設機能向上推進室	脱炭素社会推進事業	3
施設機能向上推進室	脱炭素化・先導的廃棄物処理システム実証事業	4
施設機能向上推進室	エネルギー循環モデル構築検討事業	5
施設機能向上推進室	再生可能エネルギー普及事業	6
施設機能向上推進室	最終処分場埋立工区整備事業	7

令和6年度 公共事業進捗報告シート

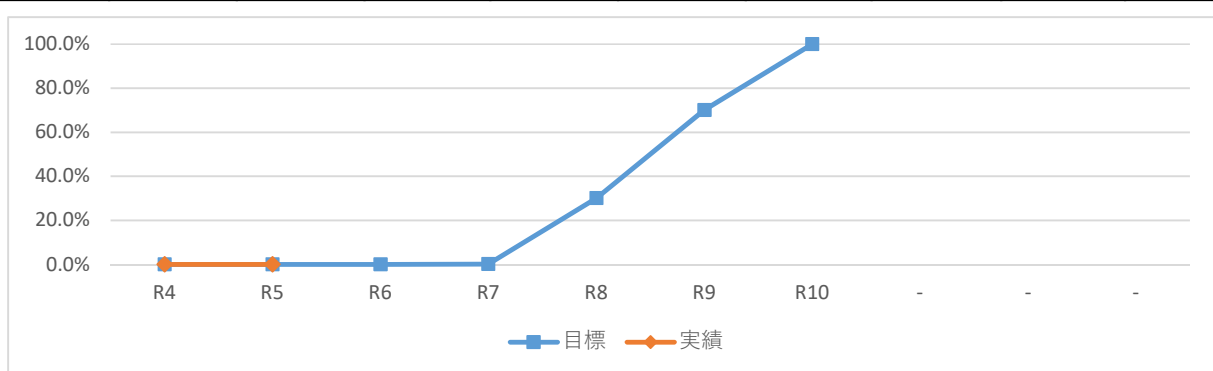
公共事業名	清掃工場施設大規模改修事業	事業期間	令和 4 ~ 令和 10 年度
担当部署・係名	施設機能向上推進室	担当課長名	田中 和之
総合計画における位置づけ	政策	恵まれた自然と共生し、人と地球にやさしいまち	
	施策	20持続可能な循環型社会の構築	
	基本事業	ごみの適正処理	

1 公共事業の基本情報

整備概要	施設を構成する基幹的な設備について、改修・改良を行い、エネルギー拠点としての機能を高め、二酸化炭素排出量を削減する。また、防災設備を充実させ、安全で安定したごみ処理を継続できるようにする。				
整備の目的	<ul style="list-style-type: none"> 適正な維持管理による、安心・安全で安定的な操業 回収する熱、電気、CO2の更なる有効活用 省エネルギーと二酸化炭素排出削減 災害対応の強化 				
事業費決算（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
工事請負費					
測量・監理等委託料	2,734	4,469			
用地購入費					
補償費					
その他事務費等					
計	2,734	4,469			
うち佐賀市の負担	2,734	4,469			
区分	R9年度	R10年度	年度	年度	合計
工事請負費					
測量・監理等委託料					7,203
用地購入費					
補償費					
その他事務費等					
計					7,203
うち佐賀市の負担					7,203

2 事業の進捗率

R4	目標	R5	目標	R6	目標	R7	目標	R8	目標	R9	目標	R10	目標	目標	目標	目標
	実績		実績		実績		実績		実績		実績		実績	実績	実績	実績
	0.0%		0.1%		0.1%		0.2%		30.1%		70.1%		100.0%			
	0.0%		0.0%													



令和6年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	脱炭素社会推進事業（施設機能向上推進室）	事業期間	令和 5 ～ 年度
担当部署・係名	施設機能向上推進室	担当課長名	
総合計画における位置づけ	政策	恵まれた自然と共生し、人と地球にやさしいまち	
	施策	19地球にやさしい低炭素社会の構築	
	基本事業	再生可能エネルギーの普及促進	

1 事務事業の基本情報

事業概要	2050年までに気候変動の主な原因である二酸化炭素の排出量を実質ゼロにすることを目的とし、令和2年10月に表明した「ゼロカーボンシティさがし」の実現に向けて、住宅用太陽光・蓄電池設置に対して補助を行う。				
事業の対象者	市民				
令和5年度主な活動実績	太陽光発電（1住宅につき10万円）補助件数：40件 応募件数：93件 蓄電池（1住宅につき15万円）補助件数：15件 応募件数：97件				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額				6,250	3,700
うち佐賀市の負担額				0	0

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
太陽光発電設備補助						件
R2 実績	R3 目標実績	R4 目標実績	R5 目標実績	R6 目標実績		
			40	40		
			40			

成果指標②						単位
蓄電池設置補助						件
R2 実績	R3 目標実績	R4 目標実績	R5 目標実績	R6 目標実績		
			15	17		
			15			

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和5年度は基準値となるため、令和6年度の実績結果から記載



成果目標達成に向けた対応策等
本事業は市が補助をすることにより、市民の設置判断を後押ししている側面がある。また佐賀市における太陽光発電のポテンシャルはほかの再生可能エネルギー（水力、風力等）と比較して大幅に高く、目標の達成に向けても最も効果的な施策であるため、今後も継続して行う意向である。

令和6年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	脱炭素化・先導的廃棄物処理システム実証事業	事業期間	令和 3 ~ 令和 5 年度
担当部署・係名	施設機能向上推進室	担当課長名	田中 和之
総合計画における位置づけ	政策	恵まれた自然と共生し、人と地球にやさしいまち	
	施策	20持続可能な循環型社会の構築	
	基本事業	ごみの適正処理	

1 事務事業の基本情報

事業概要	地域資源である未利用バイオマス（もみ殻、パルク）を佐賀市清掃工場の燃料として利活用すること、および本施設の安定運用によって得られた熱エネルギーを地域に供給することを実施し、持続可能な運用システムを検討・構築することを目的とする。本事業は、環境省からの委託事業として実施するものである。				
事業の対象者	市民				
令和5年度主な活動実績	（原料調達の工夫）昨年度行った、もみ殻、パルクの調達、混焼に加え、竹チップ、麦殻、流木、家具端材等の未利用バイオマスを調達し、混焼試験を行った。 （エネルギー転換の工夫）各種試料の混焼を行い、分析を行った。また、圧力波式ストブロー試作機の運転を行い、データを取った。				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額		31,121	42,744	41,072	
うち佐賀市の負担額		0	0	0	

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
未利用バイオマス混焼試験						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
	25	65 65	100 100			
成果指標②						単位
灰落とし装置試作機実証						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
	25	65 65	100 100			

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	昨年度に引き続き、新たな未利用バイオマスの調達と混焼を行い、データを取ることができた。圧力式ストブローを焼却炉運転中に使用し、データを取った。



成果目標達成に向けた対応策等
R5年度も他の新たな未利用バイオマスによる試験を実施し、実証事業の結果を環境省に報告した。環境省より「ごみ焼却施設の多面的な価値創造を追求した調査研究としては高く評価できる。特にバイオマスの受け入れに当たっての法的な対応の協議の必要性和協議内容は他の自治体にも参考になる。」との意見をいただいた。

令和6年度 事務事業実績報告シート

事務事業名	エネルギー循環モデル構築検討事業	事業期間	令和 5 ~ 令和 5 年度
担当部署・係名	施設機能向上推進室	担当課長名	田中 和之
総合計画に おける位置づけ	政策	恵まれた自然と共生し、人と地球にやさしいまち	
	施策	19地球にやさしい低炭素社会の構築	
	基本事業	再生可能エネルギーの普及促進	

1 事務事業の基本情報

事業概要	佐賀市清掃工場で発電した電力の効果的かつ効率的な活用策について検討を行うなかで、地域内の再生可能エネルギーの創出や調達、供給を含め、地域内脱炭素の推進に資する「エネルギー事業体（地域新電力会社）」の設立検討や再生可能エネルギー普及策の検討を行う				
事業の対象者	市民				
根拠法令等					
決算額の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業費総額				7,986	
うち佐賀市の負担額				0	

2 事業の活動実績

活動実績①					単位
ワークショップの開催					回
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	
			3		

活動実績②					単位
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	

3 活動実績の推移に関する分析及び今後の見込み

調査した結果、地域新電力会社設立の可能性があることが分かった。
 今後はサウンディング型市場調査を行い、市内外企業に対し参画の意向を確認していく。

令和6年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	再生可能エネルギー普及事業	事業期間	令和 4 ~ 令和 5 年度
担当部署・係名	施設機能向上推進室	担当課長名	田中 和之
総合計画における位置づけ	政策	恵まれた自然と共生し、人と地球にやさしいまち	
	施策	19地球にやさしい低炭素社会の構築	
	基本事業	再生可能エネルギーの普及促進	

1 事務事業の基本情報

事業概要	佐賀市内において、小水力発電および太陽光発電（ソーラーシェアリング）の導入について検討・調査を行い、再生可能エネルギーの普及拡大と地域の活性化を図る。				
事業の対象者	単位自治会などの地域団体				
令和5年度 主な活動実績	小水力発電および太陽光発電（ソーラーシェアリング）導入可能性調査・検討を行った。 調査個所①：大和町（松梅地区,グリーンセンター大和） 調査個所②：富士町（中原地区,菖蒲地区） 調査個所③：三瀬村（薙頭地区,三瀬トンネル南エリア,山中キャンプ場,中鶴公民館付近）				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額			3,530	4,916	
うち佐賀市の負担額			3,530	4,916	

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
導入可能性調査						件
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
			8	8		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	佐賀県の事業において実績があり、「佐賀モデル」のノウハウを持つ事業者へ業務委託したことで、佐賀市における小水力発電および太陽光発電（ソーラーシェアリング）の導入可能性調査・検討が有効に行えたと考えられる。



成果目標達成に向けた対応策等
対象地区の現地調査（流量調査・発電量調査・事業性評価）を行い、3か所において可能性があることが分かった。今後は設置に向けた検討をしていく。

令和6年度 公共事業進捗報告シート

公共事業名	最終処分場埋立工区整備事業	事業期間	令和 3 ~ 令和 9 年度
担当部署・係名	施設機能向上推進室	担当課長名	田中 和之
総合計画における位置づけ	政策	恵まれた自然と共生し、人と地球にやさしいまち	
	施策	20持続可能な循環型社会の構築	
	基本事業	ごみの適正処理	

1 公共事業の基本情報

整備概要	佐賀市一般廃棄物最終処分場の再生事業として第2工区の埋め立て物を掘り起こし、分別（土砂様物・可燃物・資源物・再資源化不適物）する。同時に集水管や浸出水処理施設の整備を行う。				
整備の目的	将来的な最終処分場の機能と容量を確保する。 これにより、市民生活に必要な不可欠な最終処分場の適正な運用を行うとともに市域の安定したごみ処理を継続する。				
事業費決算（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
工事請負費					
測量・監理等委託料	24,332	32,376	11,597		
用地購入費					
補償費					
その他事務費等					
計	24,332	32,376	11,597		
うち佐賀市の負担	16,221	13,600	11,597		
区分	8年度	9年度	10年度	11年度	合計
工事請負費					
測量・監理等委託料					
用地購入費					
補償費					
その他事務費等					
計					68,305
うち佐賀市の負担					41,418

2 事業の進捗率

R3	目標 実績	R4	目標 実績	R5	目標 実績	R6	目標 実績	R7	目標 実績	R8	目標 実績	R9	目標 実績	目標 実績	目標 実績	目標 実績
	0.8% 0.8%		1.8% 1.8%		3.0% 2.2%		4.0%		25.5%		66.7%		100.0%			

